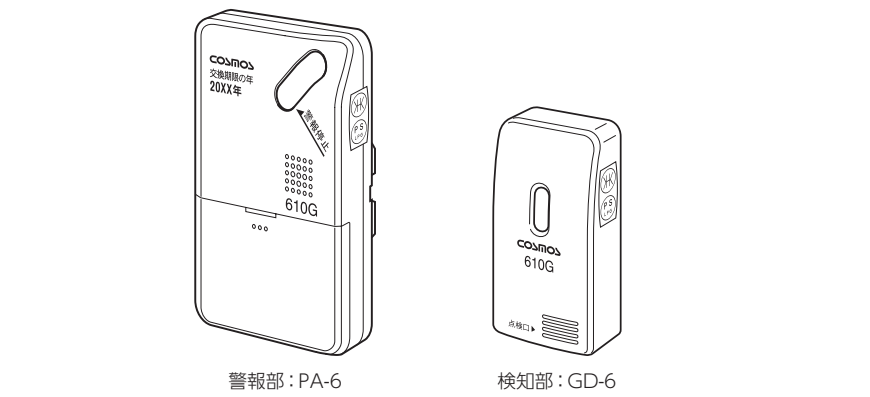


ガス警報器 (LPガス用)

型式 **XH-610G** (警報部：PA-6、検知部：GD-6)

施工説明書 【施工される方へ】

お客さまにこの警報器を安全に正しくご使用いただくために、この施工説明書をよくお読みいただき、指定された取り付けを行ってください。



1 施工される方へのお願いとご注意

お願いとご注意

- 警報器の取り付けは、この施工説明に従って指定された取り付けを行ってください。
- 取り付け終了後に、必ず動作確認を行ってください。マイコンメータや外部機器と接続される場合は、マイコンメータや外部機器の取扱説明書および設置工事説明書に基づいて動作確認を行ってください。
- 取り付け終了後に、P.15「7-1 警報器の説明」「7-2 お客さまへの周知事項」について、必ずお客さまに説明してください。
- 取り付け前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、下記の表示で区分しています。

⚠ 警告	作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が傷害を負う場合または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

1

検知部分離型
2段階有電圧出力
マイコンメータ連動型
高圧ガス保安協会検定合格品

⚠ 警告

- 分解や改造はしないでください。故障の原因となります。
- 警報器を落下させるなど、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

⚠ 注意

- 警報器に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。聴力障害などの原因になります。
- 正しい取付位置に取り付けてください。取り付けてはいけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤動作、故障の原因になります。

2 施工前の確認

2-1 梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

警報部付属品			検知部付属品			その他	
取付金具 …1個	コード振れ止め …3個		取付金具 …1個	コード振れ止め …8個		取扱説明書 (保証書付) …1部	
						施工説明書 (本書) …1部	
	アンカープラグ…2個		アンカープラグ…2個			警告表示 「警報器が鳴ったら」 ステッカー…1枚	点検ガス …1個
	皿木ねじ …2本	丸木ねじ …3本	丸木ねじ …2本	丸木ねじ …2本			

2-2 保証書・警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカーへの記入

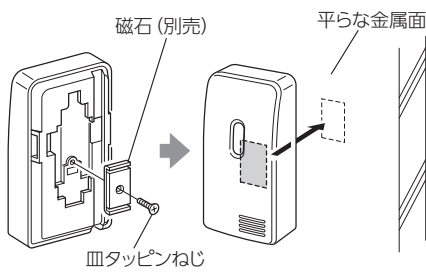
保証書の所定の欄に、販売店さまの名称・住所・連絡先を記入してください。
警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカーの所定の欄に、販売店さまの名称と連絡先を記入してください。
警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカーは、お客さまの目につく場所に貼ってください。

2

〈磁石を使用して壁面に取り付ける場合〉

検知部の背面に、別売の磁石 (OU-83) を使用して、取り付けることができます。
※検知部が落下しないよう、できる限り平らな面にお取り付けください。
取り付けの面が汚れている場合は、良く拭いてください。

※磁石が外れないよう、ねじはしっかりと奥までねじ込んでください。

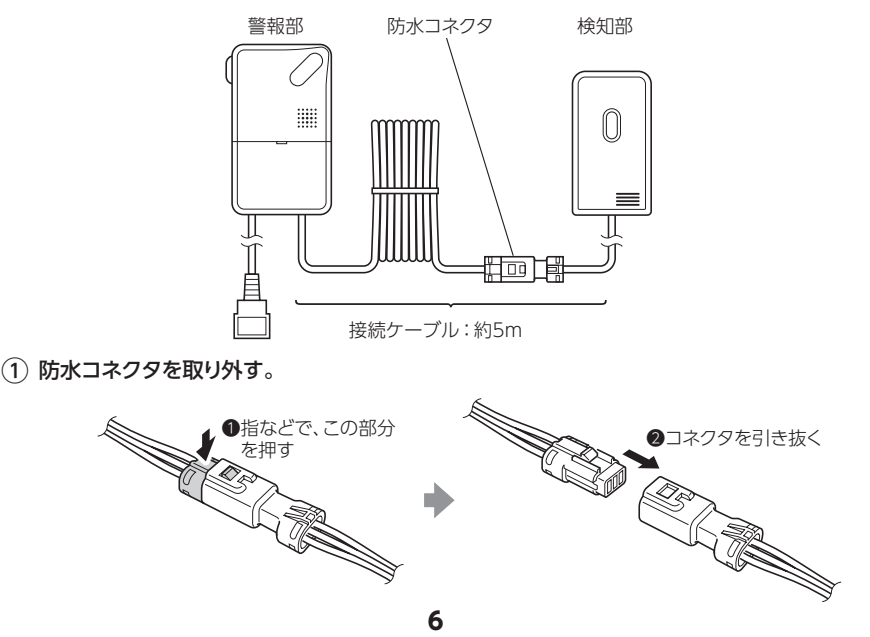


3-2 警報器の取り付け

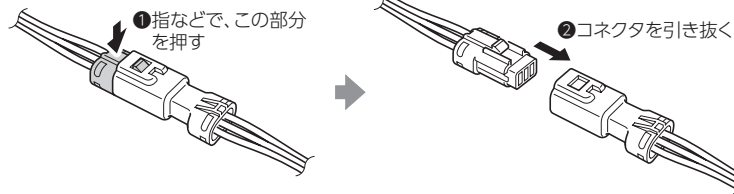
⚠ 注意

- 警報器を取り付ける際には、電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください。感電・故障・誤動作の原因となります。
- 電気設備技術基準および内線規程により、電源コードはステップルや釘などで固定しないでください。
- 電源コードや警報部・検知部の接続線の上に、重いものを置かないでください。

出荷時、警報部 (PA-6) と検知部 (GD-6) は接続ケーブルで接続されています。

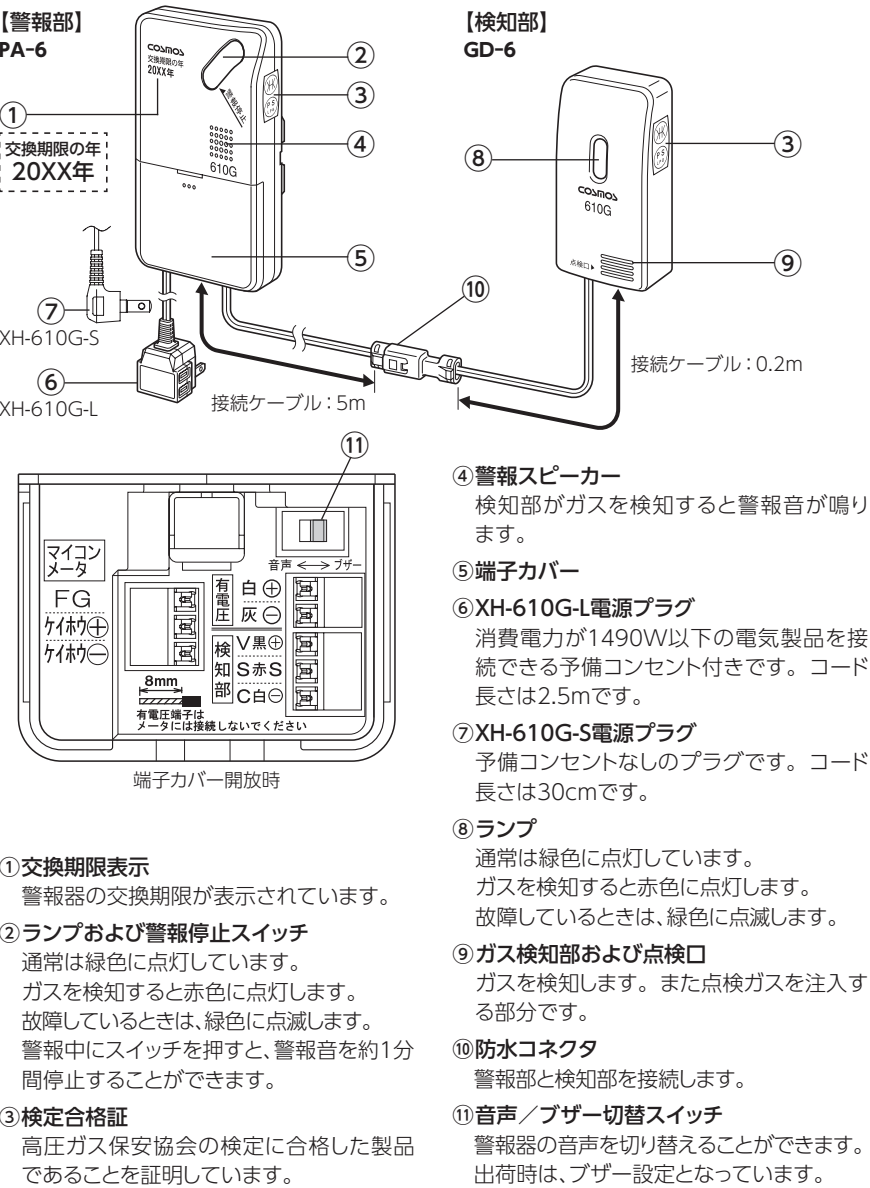


① 防水コネクタを取り外す。



6

2-3 各部の名称とはたらき



① 交換期限表示

警報器の交換期限が表示されています。

② ランプおよび警報停止スイッチ

通常は緑色に点灯しています。ガスを検知すると赤色に点灯します。故障しているときは、緑色に点滅します。警報中にスイッチを押すと、警報音を約1分間停止することができます。

③ 検定合格証

高圧ガス保安協会の検定に合格した製品であることを証明しています。

④ 警報スピーカー

検知部がガスを検知すると警報音が鳴ります。

⑤ 端子カバー

⑥ XH-610G-L電源プラグ
消費電力が1490W以下の電気製品を接続できる予備コンセント付きです。コード長さは2.5mです。

⑦ XH-610G-S電源プラグ

予備コンセントなしのプラグです。コード長さは30cmです。

⑧ ランプ

通常は緑色に点灯しています。ガスを検知すると赤色に点灯します。故障しているときは、緑色に点滅します。

⑨ ガス検知部および点検口

ガスを検知します。また点検ガスを注入する部分です。

⑩ 防水コネクタ

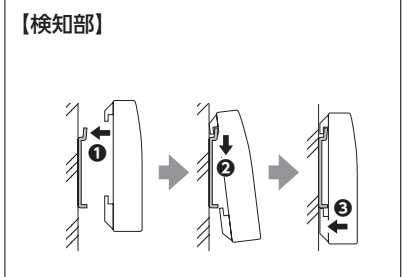
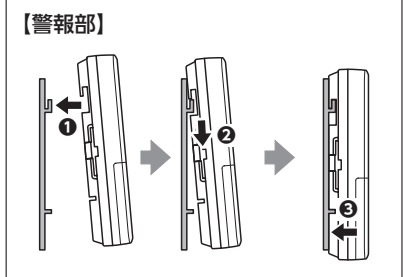
警報部と検知部を接続します。

⑪ 音声／ブザー切替スイッチ

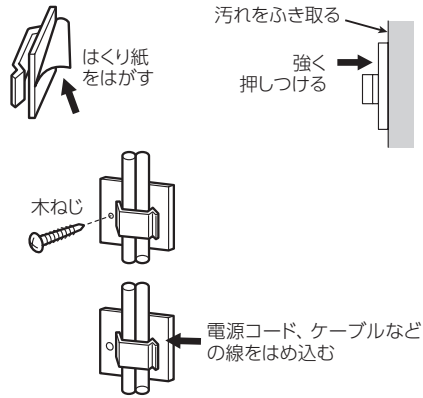
警報器の音声を切り替えることができます。出荷時は、ブザー設定となっています。

3

② 警報器を取付金具に取り付ける。



③ コード振れ止めを壁面に固定する。



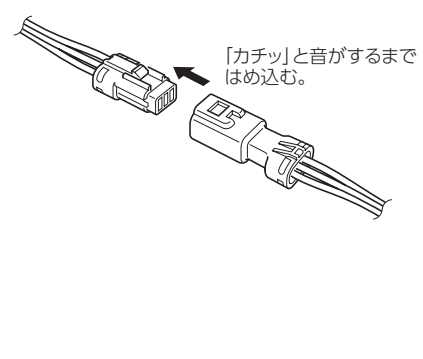
〈接着だけで取り付けできない場合〉
木ねじを使用して固定する。

④ 電源コード、ケーブルなどの線を、コード振れ止めに はめ込む。

おながい

余った電源コードや接続ケーブルは、ガス検知の妨げにならないよう、警報器のガス検知部から離して置いてください。

⑤ 防水コネクタを取り付ける。



7

2-4 取付位置の確認

取付位置については、お客さまとよく相談して決めてください。

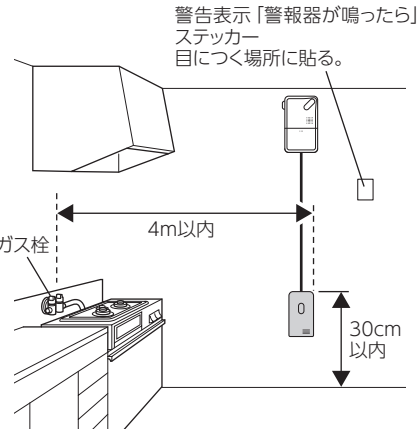
〈正しい取付位置について〉

【警報部】

- ガスもれ警報があった場合、ランプの確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けてください。

【検知部】

- 床面から30cm以内の高さで、ガス器具や元栓 (ガス栓) の最も遠いところより水平距離で4m以内の場所へ取り付けてください。
- ガスもれを検知しようとするガス機器を設置している場所と同一の室内に取り付けてください。
- もれたガスが滞留しやすい位置に取り付けてください。



〈取り付けてはいけない場所について〉

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けないでください。

【警報部】

- 振動、衝撃の激しいところ。誤動作や故障の原因になります。
- 温度が-10℃以下または40℃以上になるところ。誤動作や故障の原因になります。
- 器物や煮こぼれ、水、油などが落ちるところ。誤動作や故障の原因になります。

- 使用時しか電源を入れないところ (ビルなどの湯沸室で夜間電源を切るところ)。警報器としての機能を果たしません。
- 浴室内、水のかかる場所、水滴がつく場所、結露する場所には取り付けないでください。感電や電氣的故障の原因になります。
- 屋外。屋内専用です。

【検知部】

- 振動、衝撃の激しいところ。誤動作や故障の原因になります。
- 温度が-10℃以下または45℃以上になるところ。誤動作や故障の原因になります。
- カーテンウォールなどで仕切られるところ。警報が遅れる原因になります。
- 給排気口、通路、ドア付近などの風通しのよいところ、すきま風の入るところ。警報が遅れる原因になります。

- 台所設備などでさえぎられるところ。警報が遅れる原因になります。
- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙などが直接かかるところ。センサ寿命が短くなったり、誤動作するおそれがあります。
- 屋外。屋内専用です。

4

3 取り付けかた

3-1 警報器を取り付ける前に

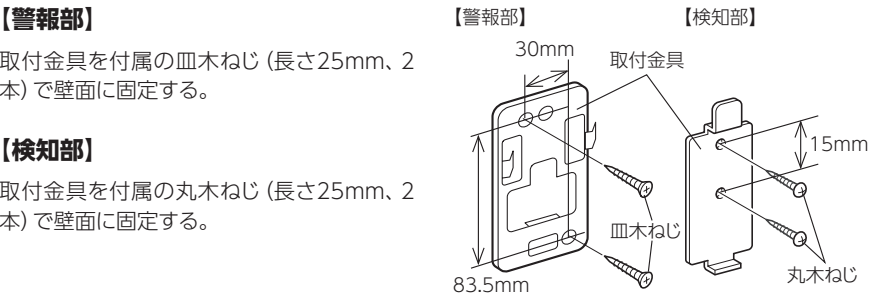
おながい

- 取付位置は、P.4「2-4 取付位置の確認」の正しい取付位置を守った上で、電源コードの距離、マイコンメータ・外部機器との接続線の長さ、端子カバーを開けたときの配線のしやすさ、取付金具に警報器を引っ掛けるための隙間などを確認して決定してください。
- 警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。警報が遅れる原因になります。

〈取付金具を使用して、木質壁・コンクリート壁・タイル壁に取り付ける場合〉

⚠ 注意

取付位置の材質・強度を確認し、土壁や強度の弱い合板には取り付けないでください。



コンクリート壁・タイル壁の場合は、壁面にφ5ドリルで35mm程度の穴を開け、付属のアンカープラグを打ち込み、取付金具を取り付ける。
※アンカープラグが入りにくい場合は、木づちで打ち込んでください。

〈配管などに取り付ける場合〉

検知部の背面に市販の結束バンドを差し込んで配管に取り付けることができます。

5

3-3 マイコンメータ・外部機器との接続

⚠ 注意

- FG線および信号線の接続は確実に行ってください。
- FG線はアース接地用ではありません。アース接地しないでください。
- FG線は、他の信号線と分けてください。
- 信号端子には極性がありますので注意してください。
- マイコンメータを交換する場合は、必ず警報器の電源を切ってから作業を行ってください。

準備いただくもの：

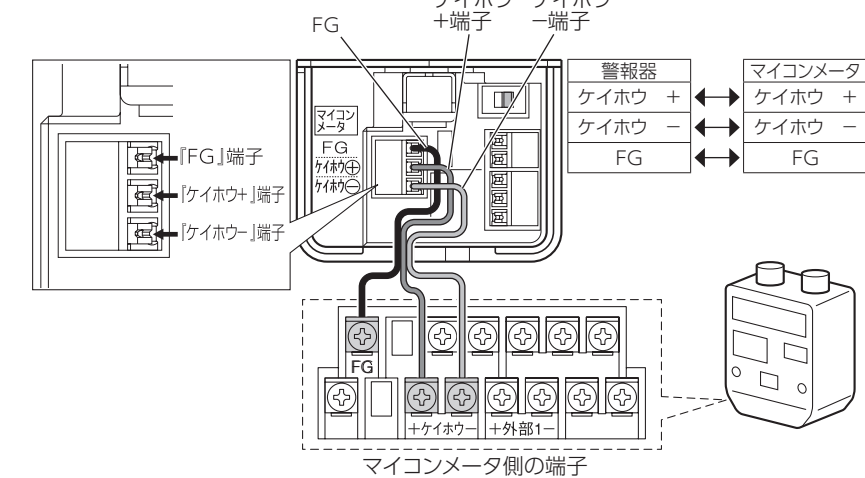
マイナスドライバー、ニッパー、信号線、FG線 (マイコンメータ接続のみ)
※使用可能電線… 単 線：φ0.65～1.2mm (AWG22～16)
より線：0.3～1.25mm² (AWG22～15)

① 端子カバーを外す。

端子カバーの溝にマイナスドライバーを差し込んで回してください。

② 接続端子を確認する。

〈マイコンメータに接続する場合〉



※接続するマイコンメータによって、端子の配置が異なるものがあります。接続する端子を間違えないよう、ご確認ください。

8

